

大分東週報



国際ロータリー第2720地区
大分東ロータリークラブ



R.I.テーマ
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
大分東RCスローガン
「温故知新 新しい時代のロータリーを考えよう」



テニスの全英オープンが開催されるウィンブルドンセンターコート

2021-2022 第24回 例会 2022.4.14 No.2739

ガバナー 大森 克磨
会長 瀬口 清文
幹事 前田 修二

本日のプログラム（4月14日）

◎12:30

1. 開会並びに点鐘
2. ロータリーソング斉唱「我等の生業」
会食
3. ゲスト・ビジターの紹介 瀬口 清文 会長
4. 会長の時間 瀬口 清文 会長
5. 幹事報告 前田 修二 幹事
6. 出席報告 野田 直宏 出席委員長
7. 委員会報告
8. ニコボックス
9. 今週のお祝い

<結婚記念日>

小嶋 一範会員 4月18日

<会員誕生日>

前田 修二会員 4月17日

◎13:00

10. 例会企画
職場例会「コープおおいた」
青木 博範 様（コープおおいた理事長）
小野 雄三 様（コープおおいた宅配本部長）

第23回（4月7日）例会記録

服部 剛 会員の卓話

「2050年カーボンニュートラルの実現に向けて」

・出席報告

会員 総数 37名 (免除 会員 9名)	4月7日（先週）				3月17日 出席率 (修正)
	出席会員数	出席率	ゲスト	ビジター	
	25名	83.30%	0名	0名	96.7%

次週の例会（第25回4月21日）

阿部 克哉 会員 「RYLAについて」

会長の時間（令和4年4月7日）

会長 瀬口 清文

本日は、新年度 4月最初の例会となります。新年度になると気分も変わります。当院も新人の衛生士が4月1日より勤務しています。国家試験にも無事に合格し、しっかり頑張っていこうという希望に満ち溢れた表情を見ていると、こちらもフレッシュな気持ちになります。早く仕事を覚えて、一日も早く患者さんに信頼される衛生士になってもらいたいものです。

ところで、最強の開運日といわれる「一粒万倍日」をご存じでしょうか。「一粒万倍日」とは、一粒の粒が万倍にも実り、立派な稲穂になるという意味だそうです。そのため「一粒万倍日」は何事を始めるにも良い日とされています。お金を増やしたい方や、会社や事業を大きく発展させたい方、幸せな結婚生活を長く続けたい方などに選ばれている吉日です。特に「一粒万倍日」にお財布の新調や新しい財布を使い始めると、金運を呼びお金は何倍にも増える効果があるそうです。「一粒万倍日」は月に4～6日ほどあるそうです。ま

た、日本の暦の上で最高の吉日といわれる「天赦日」という日もあります。すべての神様が天に昇り、天が万物の罪を赦す日とされ、この日に始めたことはすべて成功するといわれています。「天赦日」は、年に5～6日ほどあります。

では、「一粒万倍日」と「天赦日」が重なる日は、最高・最強の開運日といえます。このスーパー開運日が、2022年には3日あります。それは、1月11日と3月26日、そして6月10日だそうです。人生での大事なイベントはもちろん、宝くじの購入や、財布の買い替え・使い始めに超おススメです。ちなみにその日には、退職や閉店、借金などはしないほうが良いということです。

占いなどは全く信じない私ですが、良いと言われる日には、気分転換のためにも何かを始めてみるのもいいかなと思います。皆様もやってみてはいかがでしょうか、もちろん責任は負えませんが。

幹事報告

1. ガバナー月信 4月号がアップされておりますので回覧いたします。
2. 4月10日(日) 地区研修協議会
国際奉仕部門のセミナーになっております。小嶋会員が参加です。

ニコニコボックス

●佐藤佳郁会員（1口）

「天赦日でんしゃび一粒万倍日いちりゅうまんばいび+大安（六曜）+神吉日かみよしにち」という最強開運日に、孫が産まれました。と自慢をし、一口申請いたします。

●菅 雅幸会員（2口）

本学のテレビCMが短いので、あれば何だという指摘が多

いので、説明します。

日本文理大学では令和5年4月新設予定の「保健医療学部（仮称）で設置交渉中」の事です。学生募集を大々的に行いたいのには山々ですが、現時点では誤解を招くような情報発信は避けるよう、指示されています。順調に行けば、次は「設置認可申請中」に変わります。皆さま、ご理解のほどよろしく願いいたします。

熊野秀樹会員入会式

熊野秀樹会員（三井住友海上火災保険（株）大分支店長）ご入会おめでとうございます。
宜しく願いいたします。



特報版

- 4月のプログラム 4月21日（木）阿部 克哉会員の卓話
4月28日（木）・5月5日（木）休会
- 5月のプログラム 5月12日（木）通常例会
5月19日（木）未定

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて

服部 剛会員

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて

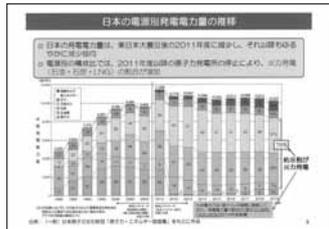
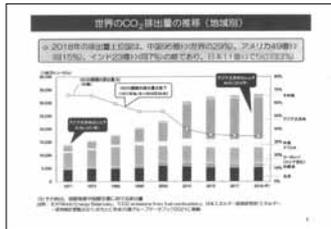
2022年4月7日
九州電力株式会社
大辻 隆雄 取締役 副社長

目 次

- 1 地球温暖化問題の現状の状況
- 2 カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
- 3 新たな産業政策「グリーン成長戦略」
- 4 エネルギー基本計画の見直し
- 5 九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050

目 次

- 1 地球温暖化問題の現状の状況
- 2 カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
- 3 新たな産業政策「グリーン成長戦略」
- 4 エネルギー基本計画の見直し
- 5 九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050



見直し前のエネルギー基本計画(2018年7月)

電源別	2030年	2040年	2050年
火力	40%	35%	30%
原子力	20%	25%	30%
再生可能エネルギー	10%	15%	20%
水素	0%	0%	5%
地熱	0%	0%	0%
太陽光	5%	10%	15%
風力	5%	10%	15%
水力	10%	10%	10%
小水力	5%	5%	5%
バイオマス	5%	5%	5%
地熱	0%	0%	0%
太陽光	5%	10%	15%
風力	5%	10%	15%
水力	10%	10%	10%
小水力	5%	5%	5%
バイオマス	5%	5%	5%

2050年カーボンニュートラル

2020年10月30日 第4回環境政策推進会議

2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み

- 1. 地球温暖化問題の現状の状況
- 2. カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
- 3. 新たな産業政策「グリーン成長戦略」
- 4. エネルギー基本計画の見直し
- 5. 九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050

2030年排出削減目標

2020年10月30日 第4回環境政策推進会議

2030年排出削減目標

- 1. 地球温暖化問題の現状の状況
- 2. カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
- 3. 新たな産業政策「グリーン成長戦略」
- 4. エネルギー基本計画の見直し
- 5. 九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050

カーボンニュートラルを表明した国

2020年10月30日 第4回環境政策推進会議

カーボンニュートラルを表明した国

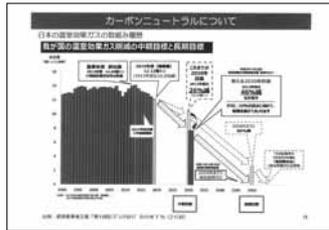
カーボンニュートラル 各国の目標

国名	目標年	削減率
EU	2050年	ネットゼロ
米国	2050年	ネットゼロ
中国	2060年	ネットゼロ
インド	2070年	ネットゼロ



目 次

- 1 地球温暖化問題の現状の状況
- 2 カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
- 3 新たな産業政策「グリーン成長戦略」
- 4 エネルギー基本計画の見直し
- 5 九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050



目 次

- 1 地球温暖化問題の現状の状況
- 2 カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
- 3 新たな産業政策「グリーン成長戦略」
- 4 エネルギー基本計画の見直し
- 5 九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050

2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略

2020年10月30日 第4回環境政策推進会議

2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略

- 1. 地球温暖化問題の現状の状況
- 2. カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
- 3. 新たな産業政策「グリーン成長戦略」
- 4. エネルギー基本計画の見直し
- 5. 九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050

目 次

- 1 地球温暖化問題の現状の状況
- 2 カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
- 3 新たな産業政策「グリーン成長戦略」
- 4 エネルギー基本計画の見直し
- 5 九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050

第6次エネルギー基本計画の概要

2020年10月30日 第4回環境政策推進会議

第6次エネルギー基本計画の概要

- 1. 地球温暖化問題の現状の状況
- 2. カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
- 3. 新たな産業政策「グリーン成長戦略」
- 4. エネルギー基本計画の見直し
- 5. 九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050

第6次エネルギー基本計画の方向性

2020年10月30日 第4回環境政策推進会議

第6次エネルギー基本計画の方向性

- 1. 地球温暖化問題の現状の状況
- 2. カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
- 3. 新たな産業政策「グリーン成長戦略」
- 4. エネルギー基本計画の見直し
- 5. 九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050

第6次エネルギー基本計画の概要

2020年10月30日 第4回環境政策推進会議

第6次エネルギー基本計画の概要

項目	概要
電源	火力: 30%, 原子力: 25%, 再生可能エネルギー: 20%, 水素: 5%, 地熱: 0%, 太陽光: 10%, 風力: 10%, 水力: 10%, 小水力: 5%, バイオマス: 5%

第6次エネルギー基本計画の概要

2020年10月30日 第4回環境政策推進会議

第6次エネルギー基本計画の概要

- 1. 地球温暖化問題の現状の状況
- 2. カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
- 3. 新たな産業政策「グリーン成長戦略」
- 4. エネルギー基本計画の見直し
- 5. 九電グループ カーボンニュートラルビジョン2050

第8次エネルギー基本計画の概要

【2050年に向けた数値目標のポイント】

項目	主要ポイント
電源	2050年に向けた電源ポートフォリオの再構築。再生可能エネルギーの拡大と原子力発電の再評価。再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価。再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価。
電力	再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価。再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価。
エネルギー効率	再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価。再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価。
エネルギー貯蔵	再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価。再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価。
エネルギーセキュリティ	再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価。再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価。

第8次エネルギー基本計画の概要

電力の供給 電源別発電量

グリーンエネルギー戦略（仮）

グリーンエネルギー戦略の概要

目次

1. 国際環境協力の現状と見通し
2. カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
3. 電力の脱炭素化（グリーン成長戦略）
4. エネルギー基本計画の概要
5. 九電グループカーボンニュートラルビジョン2050

2050年カーボンニュートラル宣言

九電グループは、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献します

- 九州から日本の脱炭素をリードする企業グループを推進して
- 八電グループは、電源別再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価を推進して、再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価を推進して、再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価を推進して
- 電力の脱炭素化を推進して、再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価を推進して
- エネルギー基本計画の再評価を推進して、再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価を推進して
- エネルギーセキュリティを確保して、再生可能エネルギーの供給能力の向上と原子力発電の再評価を推進して

九電グループが目指すカーボンニュートラルの道

電力の供給 電源別発電量

九電グループが目指すカーボンニュートラルの道

電力の供給 電源別発電量

再生可能エネルギーの主力電源化

九州電力の取り組み

九電グループが目指すカーボンニュートラルの道

電力の供給 電源別発電量

原子力の活用

日本の原子力発電

九電グループが目指すカーボンニュートラルの道

電力の供給 電源別発電量

火力発電の排出削減

火力発電の脱炭素化に向けて

九電グループが目指すカーボンニュートラルの道

電力の供給 電源別発電量

消費側の「電化の促進」

消費側の「電化の促進」

消費側の「電化の促進」

消費側の「電化の促進」

消費側の「電化の促進」

消費側の「電化の促進」

消費側の「電化の促進」

消費側の「電化の促進」

九州電力

九州電力グループ

ご清聴ありがとうございました。

ロータリーソング

我等の生業

なりわい
我等の生業 さまざまなれど
集いて図る心は一つ
やわらぎむつみ
求むるところは 平和親睦
力むるところは 向上奉仕
おお ロータリアン我等の集い

国際ロータリー第2720地区 **大分東ロータリークラブ**

創 立 昭和38年3月6日
例 日 毎週木曜日・12時30分
例 会 場 トキハ会館4F「つばきの間」
会 長 瀬口 清文
幹 事 前田 修二
事 務 所 〒870-0021
大分市府内町1-2-15
(トキハ会館4F)
TEL532-0611 FAX532-8386

ホームページ <http://www.higashi-rc.com/>
メールアドレス oitahigashirc@mist.ocn.ne.jp